



学校だより NO. 5

千葉市立稲毛小学校 令和8年9月1日

45 日間の夏休みも終わりましたが、3 週間前の豪雨により、浸水等の被害を受けられた児童並びに保護者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な生活を取り戻されますことを、学校職員一同、心よりお祈り申し上げます。

さて、学校には子どもたちの元気な姿が戻ってきました。前期最後の 1 か月が始まります。教室にはたくさんの自由研究等が並びました。それぞれ力作で、子どもたち一人一人が頑張ったことがうかがえ、微笑ましく思います。この中には、科学や図工等で、より良いものを目指して様々な工夫を凝らしたり、粘り強く取り組んだりしたことが伝わってくる作品が数多く含まれています。

4 月 18 日は、1954 年（昭和 29 年）、通商産業省（現在の経済産業省）が、産業財産権制度の普及・啓発を図ることを目的に「発明の日」と定めたそうです。今年の「発明の日」のポスターは、童話「ありとときりぎりす」から着想を得て、「発明は、みんなを幸せにしてくれる。」をテーマに、「発明品があれば、みんなの幸せな未来を築くことができる」ということを表現しているそうです。詳しくは、特許庁のホームページをご覧ください。

ポスターの参考とされた「アリとキリギリス」の童話はよくご存じのことと思います。夏の間、せっせと食べ物を運ぶアリと、歌を歌って楽しく過ごすキリギリス。やがて冬が来ると、準備をしていたアリと、何も準備をしていなかったキリギリスの立場は大きく違ってしまいます。昔から「先のことを考えて、こつこつ努力することの大切さ」を教えてくれるお話として語られてきました。もし、アリがある日、こう思ったらどうでしょう。「もっとたくさん運べる方法はないかな。」「何度も往復するのは大変だな。」「冬にも食べ物を見つけられる方法はないかな。」こうした「どうして?」「もっとこうならないかな?」という小さな疑問が、実は「発明」の出発点なのかもしれません。発明というと、何か特別な才能をもった人が、世の中にあるものを突然生み出すように思いがちです。しかし、その始まりは、案外、私たちの身の回りにある小さな「不思議」や「不便」にあります。「なぜだろう。」「どうしたらいいだろう。」「こうしてみたらどうかな。」そう考えて、やってみる。失敗する。もう一度考えてみる。その繰り返しの先に、新しいものや新しい方法が生まれていきます。子どもたちの世界には、「どうして?」がいっぱいあります。その何気ない疑問の中には、子どもにしか見えていないものがあるのかもしれません。すぐに正しい答えを見つけることだけではなく、「問い」をもつこと、その問いを大切にすることを大事にしていきたいと思います。アリのように、こつこつ積み重ねること。そして、キリギリスのように、歌ったり、遊んだり、自由に発想したりすること。どちらも、子どもたちが豊かに生きていくために必要な姿なのではないでしょうか。夏休みの間に、子どもたちの中に生まれた小さな「気付き」や「ひらめき」があるかもしれません。それらを、学校と家庭で大切にしながら、一人一人の中にある、まだ見えていない可能性を育てていきたいと思います。

夏休みに向けて

「楽しく仲良く元気よく」
過ごせましたか?

「魔法のあ・い・う・え・お」

あ あいさつ

元気なあいさつを自分から

い いのち

家族、友達の心や体、すべての命を大切に

う うんどう

元気に遊びましょう

え えがお

笑顔で友達や家族と仲良くしましょう

お おはなし

人の話をしっかり聞いて、自分の思いをしっかり話そう



また、夏休み前集会では、「魔法のあいうえお」について振り返りました。中でも「いのち」については、交通安全をはじめ、自分や周りの人の命を大切にすることについて話をしました。熊本地震や千葉豪雨などの自然災害が続いています。災害はいつ起こるか分からないからこそ、自分の命を守るための備えや行動について考えられるようにするとともに、困難な状況にある人に寄り添い、支え合う気持ちを大切にしながら対応したいと思います。加えて夏休み明けのこの時期、子どもたちは、生活リズムの乱れからくる心身の不調や、友達関係への不安、学校生活への戸惑い、孤立感などを抱くことがあります。

「一人ひとりを大切にする目線」を学校全体で共有し、子どもたちの小さな変化や声を見逃さないように努めます。そして、子どもたちが「自分は大切にされている」「困ったときには誰かに相談してよい」と感じられ、安心して学校生活を送ることができるよう、丁寧な関わりを積み重ねていきたいと思います。暑い日が続きますが、子どもたちの健康管理等、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長 佐藤 克己

9・10月の予定

9・10月の生活目標

「時間を守り、けじめのある生活をしよう。」



月	火	水	木	金
～8/31 夏季休業	9/1 夏休み明け集会	2	3 木曜日課 ⑤出前授業 (夜灯ワークショップ) ①細菌尿検査	4 通常日課
7 通常日課	8 委員会日課 ⑤⑥委員会活動 ⑥卒アル撮影 (委員会) ③出前授業 (人権教室) ④⑤⑥発育測定	9 水曜日課 のびのびタイム ①②③④発育測定	10 木曜日課 ⑥修学旅行	11 通常日課 ⑥修学旅行
14	15	16	17 ⑥卒アル撮影 (個人予備、授業)	18
21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24 木曜日課	25 通常日課
28 通常日課 ⑥出前授業 (キャリア教育)	29 クラブ日課 ④⑤⑥クラブ活動 ⑥卒アル撮影 (クラブ) 陸練 15:30～16:05	30 水曜日課 なかよし活動 陸練 15:30～16:05	10/1 木曜日課 ④秋の歯科検診	2 通常日課 ④校外学習 (千葉市科学館) 陸練 15:30～16:05
5 通常日課	6 委員会日課 ⑤⑥委員会活動 陸練 15:30～16:05	7 水曜日課 のびのびタイム ⑥出前授業 (火起こし体験) ①心電図検査 ⑤移動教室説明会 陸練 15:30～16:05	8 前期終業式	9 秋季休業 (～10/13) 学校閉庁日

※体育館改修に伴い、予定を変更する場合があります。変更があった場合は、関係する学年にすぐーる配信にてお知らせします。



<スクールカウンセラー 9・10月の来校予定>

9/4(金)・11(金)・18(金)・25(金)

10/2(金)・16(金)・23(金)

の 9:30~13:30

・お子さんからの相談や子どもに関わる保護者からの相談を受け付けています。

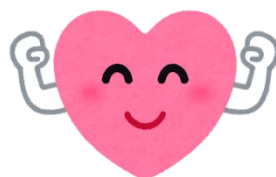
・ご予約やお問い合わせ等は、教頭(☎243-9072)までお願いします。

<長期休業明けの心のケアについて>

夏休み中は、子どもたちに対し、ご家庭でのあたたかい見守りやご協力をいただき、ありがとうございました。

長期休業明けは、子どもたちにとって「久しぶりに友達や先生に会える」という楽しみがある一方、生活リズムの変化や学校生活への不安などから、知らず知らずのうちにストレスを抱えやすい時期でもあります。心身に表れる不調として、「朝なかなか起きられない」「食欲がない」「口数が減る」「ゲームやスマホへの依存が強くなる」「ため息が増える」などが挙げられます。

学校では、休み明けの週に子どもたちの心の状態を見取るアンケートを行い、一人ひとりの様子に寄り添いながら支援を進めてまいります。ご家庭でもお子さんの些細な変化に目を配っていただき、何かお気づきの点がございましたら、担任までお知らせください。



<令和8年8月千葉豪雨に関わるお知らせ>

令和8年8月千葉豪雨で被災された皆様にお見舞い申し上げます。

8月19日に市教委よりすぐるにてお知らせしました通り、今回の災害で、教科書や体操服、ギガタブなどに被害が発生したご家庭がありましたら、学校(☎243-9072)までご連絡ください。詳細については、19日配信のすぐるをご確認ください。

<セーフティウォッチャーの募集について>

本校では、多くの地域の方々に子どもの登下校の安全を見守る「セーフティウォッチ活動」にご協力いただいています。本当にありがとうございます。また、PTA活動としても見守り活動に取り組んでくださっており、大変助かっております。

稲毛小では、セーフティウォッチャーとして、継続的に見守り活動にご協力いただける方を募集しています。登校時のみ、○曜日のみ などでもかまいませんので、お手伝いいただける方がいらっしゃいましたら、教頭(☎243-9072)までご連絡ください。

<稲毛小PTAより、白衣を寄贈していただきました！>

給食を配膳する際に児童が着用する白衣を、稲毛小PTAより寄贈していただきました。これは、皆様にご協力いただいている「ベルマーク運動」が原資と聞いております。本当にありがとうございます。古くなったものがあれば、学校でも新しいものと交換するようにはしておりますが、ボタンの外れなどを見つけた際には、担任までお知らせいただくか、可能な範囲で補修のご協力をお願いします。



引き続き、安全安心な給食を提供できるよう努めてまいります

